

KAGIN magazine

鹿児島銀行の情報マガジン

ご自由にお持ち帰り下さい

2016

特集

- ・地域産業を維持・拡大する
- ・産科不足に取り組む
- ・雇用創出を実現する
- ・観光促進で地域を元気に！

地域の課題解決に取り組む

かご「島」の話 VOL.3 徳之島

ネットワーク拡大中！
25年ぶりに鹿児島県内に店舗新設

ジュニアNISAスタート！

わたしたちは、九州フィナンシャルグループです



の話

VOL.3

徳之島

目指せ!「奄美・琉球」世界自然遺産登録!



鹿児島県には多くの「島」が存在します。

その中で徳之島は奄美群島の中心に位置し、琉球と薩摩の両方から影響を受けた歴史や独自の文化を持つ島です。サトウキビ畑や美しい海が広がるのどかな風景、時に熱く盛り上がる「闘牛」というユニークな文化、「長寿・子宝の

徳之島にのみ生息する固有の動植物が存在するなど、貴重な自然が残る地域です。島」としても有名なこの島は、さまざまな魅力にあふれています。

鹿児島県

アクセス方法 >>



飛行機でお越しの方

鹿児島島

60分

徳之島



船でお越しの方

鹿児島島

約14時間半

徳之島

沖縄

約7時間半

徳之島

徳之島

沖縄県

井之川岳 いのかわだけ



「奄美・琉球」は、絶滅の恐れのある植物の保護のための最重要地域として認識されており、国際的な団体・機関より生物多様性保全上の重要な地域としても選定されています。

このような地域性から、世界自然遺産としての価値を持つとして、世界自然遺産登録の候補地となっています。

徳之島においては、井之川岳(645m)にアマミノクロウサギを筆頭にトクノシマトゲネズミ、アマミヤマンギ等貴重な動植物が生息しており、「奄美・琉球」の世界自然遺産登録を目指す重要なエリアとなっています。

<表紙写真>

あ こん
阿権樹齢300年

ガジュマルと石垣群 (徳之島)

サンゴ礁の石を使い、緻密に組み上げた石垣は、城(ぐすく)を思わせる風格です。民家の庭先に樹齢300年と言われているガジュマルの巨木があり、この木にケンムン(精霊)が宿ると言われています。



蛙 あぜ プリンスビーチ

昭和47年に現天皇陛下が皇太子時代に美智子妃殿下と散策されたことから名付けられたビーチです。サンゴ礁のリーフの内海にはサンゴ礁が広がり、彩り豊かな熱帯魚等を見ることができ、シュノーケリングに最適の場所です。



発見!!



アマミノクロウサギ

「奄美・琉球」世界自然遺産登録を目指す徳之島におけるシンボリックな希少動物であるのがアマミノクロウサギです。

成獣の体長が40~50cmほどで、ウサギ科内でも原始的な形態を残す種と考えられていて、短い耳と尻尾、黒褐色の体毛が特徴であり、昭和38年7月に国の特別天然記念物に指定されました。

トップメッセージ

Top Message



当行は、「地域貢献」、「顧客志向」、「健全経営」、「企業活力」を企業理念に掲げ、今日まで地域に根ざす金融機関として強固な基盤を築いてまいりました。

一方、昨年度わが国の経済は、政府が取り組む財政政策や金融政策により持ち直しの動きがみられました。しかしながら、当行が営業基盤とする鹿児島・宮崎においては、その波及効果は小さく、加速している少子高齢化により地域経済の縮小が懸念されております。さらに、日銀のマイナス金利導入等により、我々地域金融機関を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

《地域金融機関の使命》

このような環境のなか、当行は株式会社肥後銀行と、共同株式移転により平成27年10月1日に持株会社「株式会社九州フィナンシャルグループ」を設立いたしました。

新しい金融グループは、「お客様にとって九州トップの総合金融グループ」の実現へ向けて、より磐石な経営基盤を確立

し、広域化した新たな地域密着型ビジネスモデルの創造に取り組んでまいります。

また、当行では現在取り組んでいる第6次経営戦略計画（略称：第6次マスタープラン）が2年目に入りました。平成28年度は、第6次マスタープランの達成へ向けて重要な年となるため、これまで以上に、3つの基本戦略である「地域の発展を実現する金融力の発揮」、「競争を勝ち抜く組織への進化」、「企業価値向上に向けた人材の育成」を着実かつ迅速に実行してまいります。

本年度は「地方創生」がこれまでの戦略策定ステージから実現ステージへと移行していきます。当行も地域金融機関の最大の使命である「地域に貢献する」ということを、引き続き、『行動』で示してまいります。当行のあらゆる経営資源を投入し、今まで以上に実体経済に深く関わることで、地域の発展のために力を尽くしていきます。

《地域にとって“なくてはならない”銀行へ》

第6次マスタープランでは、お客さまに真にご満足戴けるよう、役職員一人ひとりが自己研鑽に取り組み、サービスの向上に全力で努めていきます。

『地域にとって“なくてはならない”銀行』

皆さまにこう言って戴けるよう、当行は、全役職員の知恵と行動を結集させ、ひたむきに地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

なにとぞ、今後とも一層のお引き立てとご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成28年7月

取締役頭取 上村基宏

第6次経営戦略計画（略称：第6次マスタープラン）



TOPICS

第6次経営戦略計画スタート

インターネット専用支店「ネット支店」の開設
▶ P13へ

株式会社九州フィナンシャルグループ設立
▶ P15へ

南九州市との地方創生に係る相互協力及び連携に関する協定の締結

「かぎん地方創生支援融資」の取扱開始
鹿児島ユナイテッドFCとのオフィシャルトップパートナー契約の締結

平成27年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平成28年 1月 2月 3月

「第6次一般事業主行動計画」の策定

沖縄支店・沖縄事務所の開設
▶ P13へ



向陽支店の開設 ▶ P13へ
肥後銀行と当行の手形・小切手用紙の共同発行開始
「成年後見制度取次サービス」の開始

「スマホATM（カードレス）引出サービス」の取扱開始
さつま町との地方創生に係る相互協力及び連携に関する協定の締結
「ふるさと納税」における業務連携・協力に関する覚書の締結

鹿児島銀行本店ビルが新しくなります！

建物外観イメージ図

■ 新本店ビルのコンセプト

地域・お客様・従業員を

守り つなぎ 支える 建物をつくる

防災性の強化
万全のセキュリティ
環境保全

「にぎわい」創出
地域の力をつなぐ

お客様が行きたくなる施設
能力を発揮できる職場環境
将来の変化に柔軟に対応

■ スケジュール予定

平成28年11月 本館・泉別館の解体に着手
平成29年 5月 新本店（金生町ビル・泉町ビル）の新築に着手
平成30年 7月 泉町ビル完成予定
平成31年10月 金生町ビル完成予定

■ 仮店舗営業のお知らせ

新本店ビルの建設期間中、本店営業部及び本部機能は仮店舗等で営業します。

■ 本店営業部仮店舗

住 所：鹿児島市中町7番1号中町中央ビル1,2階（旧 個人プラザかぎんWELL）
営業開始日：平成28年9月20日（火） 予定



～かぎんのCSV活動～

銀行ってお金を預ったり貸し出すのが仕事でしょ？

いいえ、それだけではありません。

鹿児島銀行は地域の課題解決のため、お客様と一緒に、考え、行動し、地域との『共存共栄』の実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。

本特集では、従来の“銀行業”とは少し違った鹿児島銀行の取り組みを紹介。

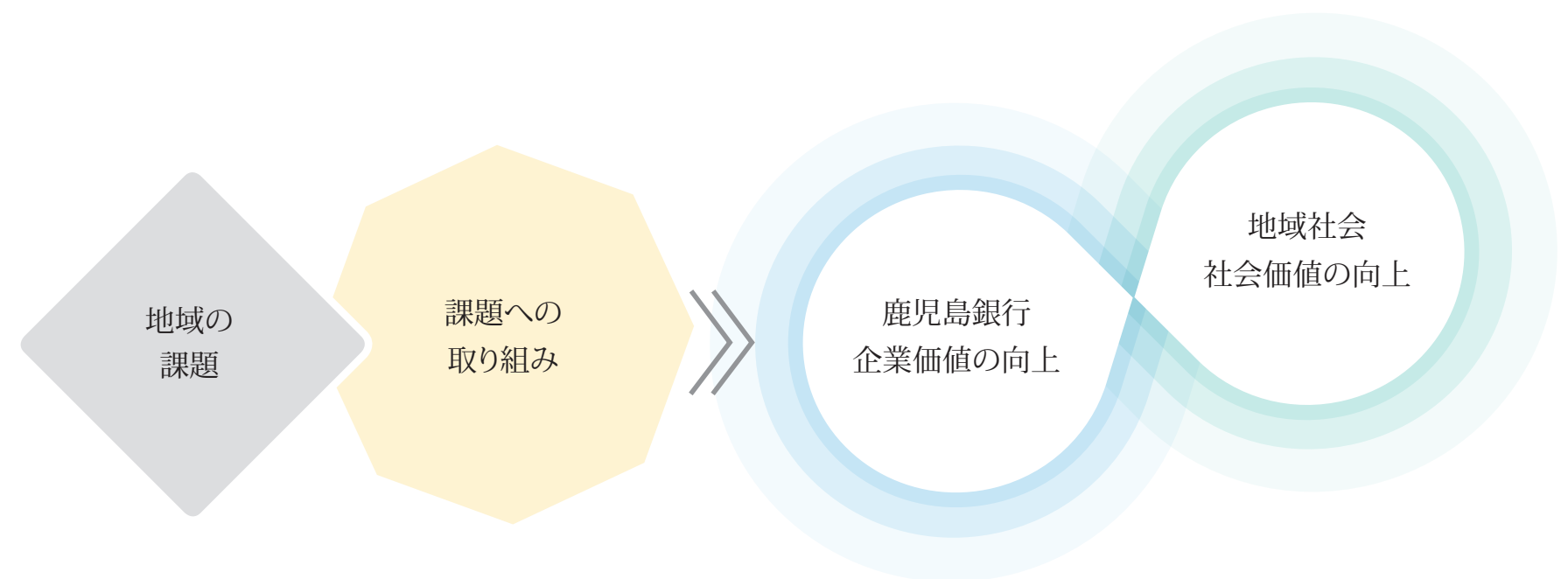
「お客様」と「お客様の夢」を“つなぐ”。
私たちの想いがここにあります。

CSVとは

CSV（Creating Shared Value）とは“社会との共通価値の創造”を意味します。

当行は、企業活動を通じて地域社会における課題解決に貢献することを目指します。

CSV活動のイメージ図



課題1

地域産業を維持・拡大する
～KFG地域企業応援ファンドの活用～

▶ P.07へ

課題2

産科不足に取り組む
～地域医療の充実に向けた支援～

▶ P.09へ

課題3

雇用創出を実現する
～日置市におけるオリーブ事業戦略の支援～

▶ P.11へ

課題4

観光促進で地域を元気に！
～初開催！「鹿児島マラソン2016」～

▶ P.11へ

課題1

地域産業を維持・拡大する ～KFG地域企業応援ファンドの活用～

平成27年10月に当行および肥後銀行、株式会社Kizunaキャピタルで共同設立した「KFG地域企業応援ファンド」。その第1号案件として出資したのが「日本なまず生産株式会社」です。当社は、養鰻生産量全国1位を誇る鹿児島の養鰻技術と豊富な地下水、遊休資産を活かした美味しい養殖ナマズの生産・普及に努めています。

企業応援ファンド」。その第1号案件として出資したのが「日本なまず生産株式会社」です。当社は、養鰻生産量全国1位を誇る鹿児島の養鰻技術と豊富な地下水、遊休資産を活かした美味しい養殖ナマズの生産・普及に努めています。

地域の課題

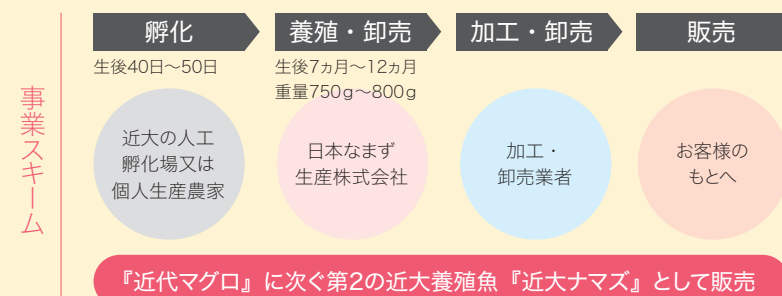
- 養鰻の制限による地域産業への打撃
- 遊休資産の活用

平成26年度より、養鰻業者のシラスウナギ池入量は許可制(池入制限)となりました。これは、うなぎ養殖が天然のシラスウナギに依存していることから、限りある資源を継続的に活用すべく対策が講じられたためです。しかし、この池入制限により、今後全国の養鰻場の一部に空きが出始める可能性があります。地域産業への影響が懸念されています。

課題への取り組み

- 地域 ■ 美味しい“養殖ナマズ”の開発
- かぎん ■ 「KFG地域企業応援ファンド」による出資

そこで、日本なまず生産株式会社が取り組んだのが“美味しい養殖ナマズ”の開発。日本なまず生産株式会社の牧原社長と近畿大学農学部有路教授との連携により



「KFG地域企業応援ファンド」について

当行および肥後銀行、株式会社九州Kizunaキャピタルが共同で設立・出資したファンド。地場（鹿児島・熊本・宮崎）に本店または拠点を有する企業に対し、その事業基盤の再生、強化、拡大、成長ならびに第二創業等のあらゆる事業ステージにおいて支援することを目的として、当該企業が発行する優先株式および劣後ローンを主たる投資対象とする。

です。美味しい養殖ナマズは実現されました。



開発された美味しい養殖ナマズ



牧原社長

鹿児島銀行
企業価値の向上

- ファンドの活用
- 地域経済の下支えによる営業地盤の維持拡大

地域社会
社会価値の向上

- 地域産業・雇用の維持拡大
- 新しいブランドの創出

平成28年6月からは、格安航空会社（LCC）ピーチ・アビエーションの機内食として提供されることが決定し、販路拡大の第一歩を踏み出しました。「国内外の人に食べていただき、大隅の新たな特産品として、地域産業・雇用の維持拡大を図りたい。」と牧原社長は意気込んでいます。

会社情報

日本なまず生産株式会社
代表者：代表取締役 牧原博文
住所：鹿児島県肝属郡東串良町岩弘1437番地
設立：平成27年8月
事業内容：内水面養殖業（ナマズ養殖）、ナマズ生産管理業



東串良町

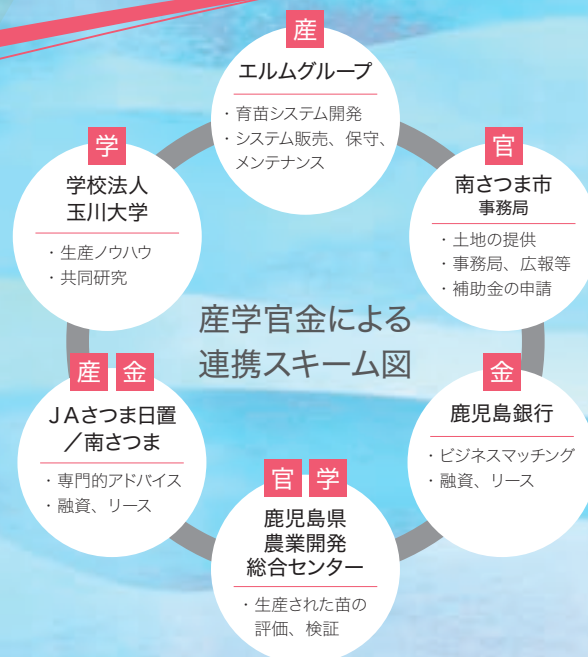
産学官金の連携

当行と南さつま市は平成24年に包括的業務協力協定を締結し、地域活性化に向けた情報交換を行ってきました。南さつま市は、地域の基幹産業である農業と電子部品関連の製造業を活用した地域産業振興のため、「地域の宝に『光』をあて新たな産業を起こす」ことを地方版総合戦略の基本目標の1つに掲げています。

一方、当行加世田支店のお取引先である株式会社エルムは自社製品であるLED商材を農業分野に応用したいと考えていました。そこでスタートしたのが「南さつま市コンテナ内LED育苗推進プロジェクト」です。野菜や花き類の育苗を、コンテナ内でLEDの光により生産することで、無農薬栽培、生産性向上などのメリット実現を目指します。

プロジェクトの推進にあたっては、平成28年4月に産学官金連携によるコンソーシアム（協議会）が設立されました。平成31年度末までに計20カ所のコンテナを設置し、10品種の苗を生産する目標を掲げています。農業従事者の生産の安定化を図り、新たな地域ブランドの創出に繋げ、将来的には県外への販売も視野に入れています。

産学官金による連携スキーム図



南さつま市コンテナ内LED育苗技術実証コンソーシアム



開発するコンテナのイメージ図

（南さつま市提供）



南さつま市

課題 2

産科不足に取り組む～地域医療の充実に向けた支援～

地域住民への医療提供体制の確保に向けた対策として設立された地域医療再生基金「はやぶさプラン」。当行は本基金への寄付を通じて、地域の産科医療の充実を支援しています。

地域の課題

■ 産科の「地域偏在」

鹿児島県内地域では、産科の医師・看護師・助産師が慢性的に不足する「地域偏在」が問題となっています。誕生した医師・看護師・助産師は県外に出てしまうほか、県内でも鹿児島市内に集中してしまうためです。

課題への取り組み

地域 ■ 鹿児島県医師会による「はやぶさプラン」の設立

かぎん ■ 本基金に対する寄付

そこで、平成26年12月に、地域住民への医療提供体制の確保に向けた対策として設立されたのが、鹿児島県医師会が運営する地域医療再生基金「はやぶさプラン」。地域医療に使命感と情熱を持つ地域医師会病院研修医、産婦人科医（後期研修医）、看護師、助産師に助成を行うことで、地域医療の充実につなげます。

当行は、地域の産科医療の充実を支援するため、平成28年から5年間で総額5,000万円を本基金に寄付することを決定しました。



鹿児島銀行
企業価値の向上

■ 地域経済を支える
医療分野への取り組みによる
営業地盤の維持拡大

地域社会
社会価値の向上

■ 地域医療の充実

担当者は語る!

鹿児島県は首都圏に比べて高齢化が進んでおり、将来的に首都圏に起こりうる状況先取りしているとも言えます。そのため、県内の医療機関に向けて行ってってきた支援は、今後首都圏でも役立っていくと考えられます。そこで、県内の医療機関への推進活動で培ってきたノウハウを活かし、首都圏や他の地域にも支援先を拡げていければと思います。

医業支援部

医業支援部の取り組み

わが国が抱える問題の一つである高齢化社会問題。高齢者向け医療の需要増加などを受け、当行の医療・介護向け融資残高は約2,750億円、県内病院取引先数シェアは61.7%にのびます（平成28年3月末時点）。ここでは、当行が取り組む地域医療機関への支援活動について紹介します。

鹿児島県は、65歳以上の人口割合を示す高齢化率が26.3%（全国平均23.3%）と全国12位であり、高齢者人口の多い地域。一方で、人口10万人当たりの一般病院数は13.7施設（全国平均6.0施設）と全国2位、身体障がい者施設数は22.7施設（全国平均7.9施設）と全国1位であり、全国的にも人口当たりの医療機関数が多いエリアです。

このように、医療・介護事業は鹿児島県の経済を支える代表的な産業の一つであると言えるのです。

医療・介護分野への取り組み

当行は、医療機関への支援体制を強化するため、平成19年に営業支援部 医業推進室を開設。平成28年3月には担当者の人数を開設当初の4名から8名に増員し「医業支援部」に昇格しました。

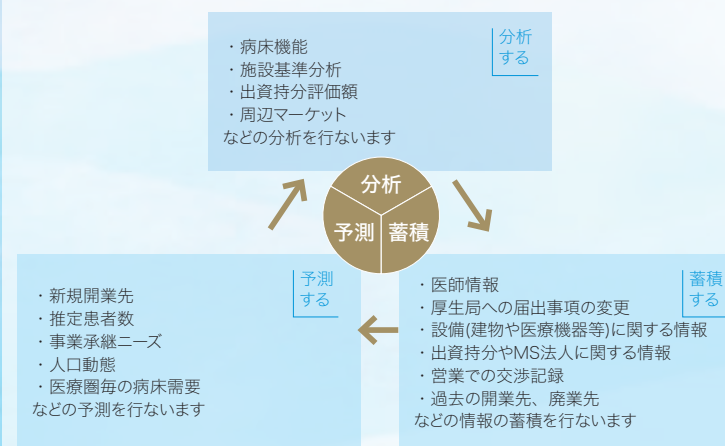
医業支援部では、資金調達や財務改善の提案を行うファイナンスサポートをはじめ、開業支援・競合分析、マーケット調査、事業展開・転換等支援、経営支援コンサルティングなどを行っており、その活動は多岐にわたります。このほか、医療コンサルタントや会計事務所、保険会社等の外部機関と連携し、レセプト診断やM&A・事業承継、医療機関債・社会医療法人債の発行などのソリューション提供も行っています。

当行が医療機関債の引受けを開始したのは平成18年。平成28年4月現在で引受先は28先、引受額は約46億円にのびます。

情報ツール活用で課題を把握し、細やかなアドバイスを実践

医療機関債の活用提案とともに注力しているのが、情報検索ツールを活用したソリューション提案。当行は、システムコンサルティング会社の株式会社インビオと連携して、平成27年3月に医療・介護営業支援システム「Trovo-medical（トロボメディカル）」を開発。トロボメディカルは、全国の医療機関の基本情報（規模、業歴、診療科目、医院長等）や各医療圏の制度情報、医療機関数などを検索できるシステム。各地方自治体や公的機関の情報がベースとなっており、ヒアリングなどで得た情報を追加することもできます。情報はリアルタイムで更新され、マーケット分析や営業支援などに活用しています。同年7月からはシステムの販売も開始し、みずほ銀行、エーザイなどの企業でも導入されています。情報量が増えたことで、提案の精度も向上。システムが開発される以前は、財務諸表上に現れる変化を捉えることしかできませんでした。しかし、外部環境の変化や競合先の動向が把握できるようになったことで財務がなぜ変化しているのかという要因まで推察できるようになり、こうした細やかなアドバイスが融資残高の増加に繋がったと言えます。

Trovo-medicalの活用イメージ



課題3

雇用創出を実現する～日置市におけるオリーブ事業戦略の支援～

地域の雇用を創出するため日置市が考えたのがオリーブを活用した地域興し。平成27年2月、当行が出資した鹿児島オリーブ株式会社がオリーブ専門店「Vigore（ビゴレ）」を日置市にオープンしました。

地域の課題

■ 雇用の減少

約4年前、地域の雇用を支えていた大手電機メーカーが業務の縮小を表明。工場が日置市から撤退し、従業員の半数以上が仕事を失いました。

地域

■ 日置市によるオリーブを活用した地域興し

かぎん

■ 出資によるオリーブ専門店オープンの支援

そこで、日置市が考えたのがオリーブを活用した地域興し。地中海沿岸が原産のオリーブは、温暖な気候の日置市においても栽培に適しており、オリーブ事業を発展させて、新たな雇用を生み出したいと考えました。



平成27年2月、当行が出資した鹿児島オリーブ株式会社がオリーブ専門店「Vigore（ビゴレ）」をオープンし、地域における雇用創出が実現しました。

数名の雇用創出でも何度も繰り返すと大きな雇用につながります。こういった積み重ねが大切なのです！

当初はオリーブオイルのみの販売でしたが、現在はオリーブの葉エキ스가配合されたオリーブ石鹸も開発され、平成28年4月から日置市が新生児家庭に無料で配布している「マタニティーボックス」（乳児の衣類やオムツ、おもちゃなどが入った「育児のスターターキット」）にこのオリーブ石鹸も同封されています。



また、オリーブオイルのボトルも平成28年2月にリニューアル。ボトルデザインはプロダクトデザイナーの深澤直人氏が手がけ、スタイリッシュなボトルに仕上がっています。今後も「日置市といったらオリーブ」と言われるようになるよう、日置市と一緒にオリーブ事業戦略に取り組んでまいります。

■ 雇用の下支えによる営業地盤の維持拡大

■ 雇用の創出 ■ 地域・商品のブランド化

課題への取り組み

鹿児島銀行
企業価値の向上

地域社会
社会価値の向上

地域の課題

■ 観光産業の更なる振興

地域

■ 市民マラソンの開催

かぎん

■ 大会運営の支援

平成28年3月6日、鹿児島市における初めての市民マラソン「鹿児島マラソン2016」が開催されました。参加ランナーは県内外から約12,000人が集まり、大会当日は給水所にて「かるかん」や「げたんは」など鹿児島名物が無料配布されました。

当行は大会のスペシャルパートナーとして3,000万円の協賛を実施したほか、当日は400名超の行員がボランティアとして参加し、大会運営を支援しました。

また、平成27年4月より、行員1名が鹿児島マラソン実行委員会（鹿児島市）に出向し、大会の企画・運営等と一緒に取り組みました。

第2回大会は、平成29年3月5日に開催が決定！第1回大会以上の盛り上がりになることと期待がふくらみます。



■ 観光産業の振興による営業地盤の維持拡大 ■ 地域との一体感醸成

■ 観光客誘致による地域経済の活性化 ■ 継続的なイベント創出による地域の活力増強

課題4

観光促進で地域を元気に！ ～初開催！「鹿児島マラソン2016」～

鹿児島市における初めての市民マラソン「鹿児島マラソン2016」の開催に際し、当行は協賛やボランティア等により大会運営を支援しました。地域の力を結集し、第1回大会は大成功をおさめました。



当行をより便利にご利用いただくために、ネットワークの拡大に努めています！
通常の店舗に加え、ATMやネット支店など様々なチャネルを拡大することで、あらゆる層の幅広いお客様との「つながり」を増やし、「地域にとってなくてはならない」銀行を目指します。

28年1月 こうよう 向陽支店

鹿児島県内店舗としては25年ぶりに支店を開設しました。
今後の店舗体制を検討するうえでの実験店舗として様々な取り組みを試行してまいります。



注目！

女性活躍推進店舗とし、女性のための店舗運営を実施
開店記念特別企画とし、平日の営業時間延長
(9:00~19:30)を実施
※開店～平成28年3月末にて試行終了

■ 店舗概要

住所	鹿児島市広木2-39-15		
電話番号	099-204-7218		
営業時間	窓口 ※	平日	9:00～15:00
		土日祝日	9:00～17:00
	ATM(2台)	平日	8:50～19:00
		土日祝日	9:00～19:00

※ 土日祝日の窓口営業は、資産運用を中心とした相談業務を行います。

随時

宮崎県内における 店舗外ATMの増設

宮崎県内においても当行をより便利にご利用いただくため、店舗外ATMを随時増設しています。

■ 宮崎県内 店舗外ATM一覧

イオン都城ショッピングセンター	藤元総合病院
スーパーセンターニシムタ五十市店	マルイチ大門口
ドラッグコスモス加納店	マルイチ大王店
ドラッグコスモス小林堤店	マルイチ本郷店
ドラッグコスモス延岡共栄店	宮崎山形屋
HEARTYながやま都北店	
HEARTYながやま鷹尾店	(平成28年7月末現在)



27年9月 沖縄支店

沖縄県那覇市に沖縄支店および沖縄事務所を開設しました。沖縄事務所では、九州全域と沖縄の企業をつなぎ、双方向の商流構築支援に取り組んでおります。
また、沖縄の将来的な国際物流ハブ化を見据え、アジア地域への展開を目指す企業の支援などを行っております。



■ 店舗概要

住所	那覇市銘苅1-3-36		
電話番号	098-917-6330		
営業時間	窓口 ※1	平日	9:00～15:00
		土日祝日	9:00～17:00
	ATM(1台)	平日	9:00～19:00
		土日祝日	9:00～19:00

主な取扱い業務 ※2 預金業務・為替業務・融資業務(個人、法人)

※1 土日祝日の窓口営業は、個人ローンに関する相談・受付のみとなります。

※2 預り資産(投資信託・保険・公共債)、外為業務はお取り扱いしません。

27年8月 ネット支店

窓口を持たないインターネット専用支店「ネット支店」を開設しました。
「ネット支店」ではインターネットを通じたお取引により当行店舗にご来店いただくことなく預金口座が開設可能になるほか、多様なサービスを24時間ご利用いただけます。
また、食や観光に関するレポートを掲載し、鹿児島島の魅力を全国に発信します。



注目！

「平日は仕事で忙しくて、口座開設をしに銀行の窓口に行けない！」という方もインターネットなら24時間受付可能。普通預金・総合口座は通帳も発行されず、キャッシュカードのみの発行なので、通帳を失くしてしまうなどの心配もなし！現金の入出金は当行ATMおよび当行が提携する全国のATMでご利用いただけます。



新しい贈りもの



ジュニアNISA スタート

平成28年
1月から開設

将来に向けた
プレゼント！

ジュニアNISAとは、未成年者(0歳～19歳)を対象とした、少額投資非課税制度の愛称です。お子さまやお孫さまの将来に向けた資産形成をサポートします。

ジュニアNISAのポイント

投資信託など※の
売却益・分配金
などが非課税

平成28年4月から投資が可能となりました。

対象者は日本にお住まいの
0歳から19歳
の未成年の方

18歳になるまで
払出制限あり

本人に代わって
親権者等が
運用管理者として運用

非課税投資枠
年間80万円

すべての金融機関を通じて
おひとり様
1口座のみ

※ジュニアNISA口座で当行が取り扱う商品は「公募株式投資信託」のみです。

くわしくはかぎん本支店窓口まで！
<http://www.kagin.co.jp/>

投資信託に関するご留意点

- 投資信託は、預金等ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、当行は投資者保護基金に加入していないため、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、その信託財産に組入れられた株式・公社債などの価格が、金利の変動・為替相場の変動、その発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等で変動し、基準価額が下落することにより投資元本を割り込む場合があります。なお、外貨建て資産が組入れられている場合には、上記に加え、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替相場の変動により円換算ベースでは投資元本を割り込むことがあります。くわしくは、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 投資信託の運用による損益は、すべてご購入されたお客様に帰属します。
- 各ファンドのご購入時や運用期間中にご負担いただく費用には、以下のものがあります。

申込手数料	各ファンドの基準価額に対して、最大3.24%(税込)
信託財産留保額	各ファンドの基準価額に対して、最大0.5%
信託報酬	各ファンドの純資産総額に対して、最大年率2.376%(税込)
解約手数料	公社債投資のご解約時のみ必要となる手数料で、最大1万円あたり108円(税込)
その他費用	監査費用、売買委託手数料、外貨建て資産の保管に要する費用など信託財産から差し引かれる手数料が必要となります。(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額を示すことができません。)

※これら手数料・費用等の合計額については、申込金額や保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

※上記手数料・費用等は、当行で取扱うすべてのファンドにおける各手数料の最大を表示したものです。個別ファンドのご購入にかかる各手数料は、インターネット画面、窓口等でご確認ください。

- ファンドによっては、お取扱いできない日や大口の解約について制限がある場合があります。また、証券取引所等の取引停止などやむを得ない事情があるときは、ご解約の申込受付を中止すること等があり、残存口数がファンド所定の口数を下回った場合等には、信託期間の途中で信託が終了(償還)されることがあります。
- 投資信託のご購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)を熟読し、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 「投資信託説明書(交付目論見書)」はインターネット画面にてご確認ください。また、かぎん本支店窓口にてご請求ください。

わたしたちは九州フィナンシャルグループです

株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行は、共同株式移転により平成27年10月1日に持株会社「株式会社九州フィナンシャルグループ」を設立いたしました。

グループ経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指します。

- 1 お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。
- 2 地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。
- 3 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

目指す姿 お客様にとって九州トップの総合金融グループ

「協働」▶「融合」 2つのステージで実現

1. 協働ステージ 第1次中計

(平成27年10月～平成30年3月)

- 相互理解を深め、有効性を導入し合う。
- 融合ステージにおける統合効果の最大限発揮に向け、強み(ノウハウ)を結集して、グループ総合金融力を高める。
- グループガバナンスの高度化を進め、グループ経営資源を最適に配分する仕組みを構築する。

2. 融合ステージ 第2次中計以降

(平成30年4月～)

- グループ全体の融合を段階的に進め、経営基盤をより強固なものにする。
- グループの連結粗利益と経費効率の両面から、統合効果を最大限に発揮し、持続的成長につなげる。

第1次中期経営計画

基本方針 お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築

経営基盤

お客様の多様なニーズに応える

「総合金融力」

- 金融ニーズに迅速かつ的確に応える金融事業領域・商品・サービス
- 地域の持続的成長を実現する地方創生戦略
- グループ収益を支える安定した市場運用収益

ステークホルダーに信頼される

「ブランド力」

- 地域・お客様 常に選ばれ続ける高い信頼性(人間力・商品力)
- 株主 安定的な株主還元と積極的なIR活動
- 従業員 グループの一員であるという誇りと高いモチベーション

グループ全体最適を実現する

「組織運営力」

- 環境変化に適応したグループ経営基盤の強化
- 高度なグループ経営管理態勢の整備
- 総合金融力構築を支える経営・業務の効率化と戦略的人員配置

■ 協働ステージでの取り組み

統合記念キャンペーン

九州フィナンシャルグループ誕生を記念し、また、熊本・鹿児島両県民の交流を願い、個人のお客様を対象とした円貨個人定期預金の金利上乗せキャンペーンを実施しました。(平成27年10月1日から12月30日まで)



PPP/PFIプラットフォーム設立



「PPPで乗り切るインフラ老朽化問題」をテーマに講演を行う根本祐二氏

地元自治体の公共施設老朽化問題等に積極的に取り組むべく、PPP/PFIの普及・促進を目的としたプラットフォームを設立し、設立記念講演会を開催しました。

肥後銀行⇄鹿児島銀行間の振込手数料改定

肥後銀行から鹿児島銀行宛の振込手数料が肥後銀行本支店宛と同額に、鹿児島銀行から肥後銀行宛の振込手数料が鹿児島銀行本支店宛と同額になりました。

※手数料の詳細については、ホームページまたは店頭でご確認ください。

熊本・鹿児島日帰りツアー

平成28年3月、地方創生への取り組みの一環として、自治体等と連携し、熊本・鹿児島間をつなぐ「肥薩おれんじ鉄道」を利用した日帰りツアーを実施しました。



出発する「肥薩おれんじ鉄道」を見送る地域の人々



販売開始後約10分で完売!

KFG地域企業応援ファンド

地場(熊本、鹿児島、宮崎)に本店または拠点有する企業様に対し、事業基盤の再生、強化、拡大、成長ならびに、第二創業等のあらゆる事業ステージにおいて支援することを目的に、肥後銀行および鹿児島銀行、株式会社Kizunaキャピタルの共同で「KFG地域企業応援ファンド」を設立しました。



日本なまず生産株式会社様(第1号案件)が開発した「うなぎ味のナマズ」

人材交流

人材育成の強化と相互理解促進、グループ一体感の醸成のため、それぞれの地域行事への参加や共同研修の開催などの人材交流を積極的に行っています。平成28年3月には両行の行員が相手行に出向し、人事異動を伴う人材交流も実施しました。

また、平成28年4月に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震により被災されたお客様の被害状況等の把握のため、鹿児島銀行から30名の行員を肥後銀行へ派遣しました。



鹿児島「おはら祭り」(平成27年11月)肥後銀行の新入行員24名が参加



入行7年目の女性行員を対象にした「キャリア7研修」に各行約20名ずつが参加



被災された肥後銀行のお取引先を訪問する鹿児島銀行の行員

プロフィール (平成28年3月末現在)



九州フィナンシャルグループ

本店所在地(登記上の住所) 鹿児島市金生町6番6号
本社所在地(本社機能) 熊本市中央区練兵町1番地
代表者 代表取締役会長 甲斐 隆博(肥後銀行 取締役頭取)
代表取締役社長 上村 基宏(鹿児島銀行 取締役頭取)

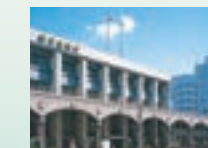
資本金 360億円
設立日 平成27年10月1日
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所本則市場
証券コード 7180



創立 大正14年7月25日
資本金 181億28百万円
本店所在地 熊本市中央区練兵町1番地
店舗数 123か店(本支店 118・出張所 4・海外駐在員事務所 1)
従業員 2,233人



創立 明治12年10月6日
資本金 181億30百万円
本店所在地 鹿児島市金生町6番6号
店舗数 152か店(本支店 113・出張所 11・代理店 27・海外駐在員事務所 1)
従業員 2,257人



営業の概況

九州フィナンシャルグループ（KFG）連結

(単位：百万円)

科 目	平成28年3月期
経常収益	131,224
経常利益	25,606
親会社株主に帰属する当期純利益	108,471
自己資本比率	12.86%

POINT

平成28年3月期の業績につきましては、経常収益は1,312億24百万円、経常利益は256億6百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経営統合による初年度特殊要因として、「負ののれん発生益」884億87百万円を特別利益に計上したことにより、1,084億71百万円となりました。

肥後銀行・鹿児島銀行（2行単体合算）

(単位：百万円)

科 目	平成28年3月期	前期比	平成27年3月期
経常収益	147,687	11,539	136,147
業務粗利益	109,342	△207	109,550
うち資金利益	93,457	1,284	92,172
経費（除く臨時処理分）	75,529	994	74,534
コア業務純益	31,803	△959	32,763
業務純益	36,476	3,279	33,196
経常利益	39,285	648	38,637
当期純利益	25,525	2,219	23,305

(単位：億円)

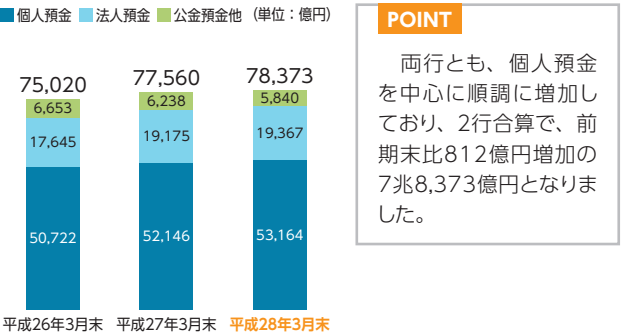
総預金残高	78,373	812	77,560
貸出金残高	56,953	3,237	53,715
預り資産残高	10,381	297	10,083

POINT

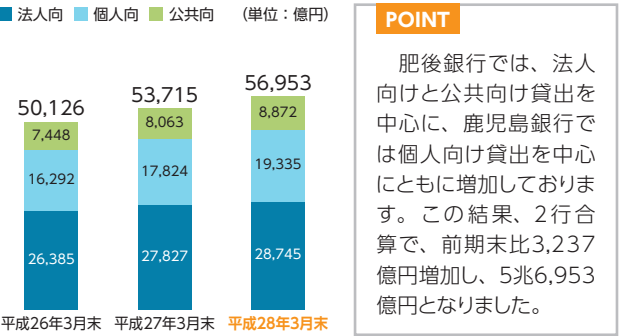
業務粗利益につきましては、資金利益は増加したものの、その他業務利益が減少したことなどから前期比2億7百万円減少しました。業務純益は、一般貸倒引当金が戻入となったことなどから前期比32億79百万円増加しました。経常利益は、不良債権処理額の増加等により前期比6億48百万円の増加にとどまりましたが、法人税率の引下げ等により税金費用が減少したことから、当期純利益は前期比22億19百万円増加しております。

(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

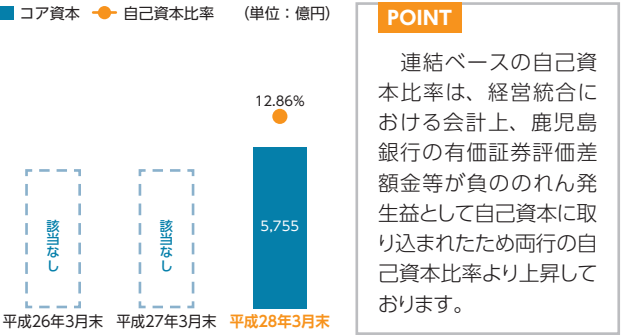
総預金の状況（2行単体合算）



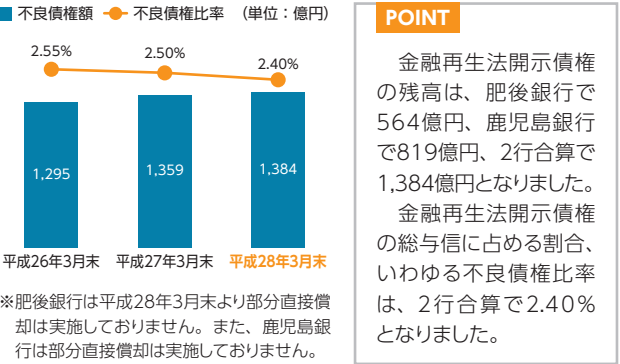
貸出金の状況（2行単体合算）



自己資本比率の状況（KFG連結）



金融再生法開示債権の状況（2行単体合算）



	肥後銀行	鹿児島銀行		肥後銀行	鹿児島銀行
総預金残高 (譲渡性預金を含む)	42,566億円	35,806億円	株主資本ROE ^{※3}	5.67%	4.79%
貸出金残高	28,309億円	28,643億円	自己資本比率	12.10%	11.54%
コア業務純益 ^{※1}	139億円	178億円	不良債権比率	1.98%	2.83%
業務純益	155億円	208億円	格付 (平成28年3月31日現在)	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン(株) 【長期格付】 A スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン(株) 【長期格付】 A 格付付投資情報センター(R&I) 【長期格付】 A+ ムーディーズ・ジャパン(株) 【長期格付】 A1	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン(株) 【長期格付】 A 格付付投資情報センター(R&I) 【長期格付】 A+
経常利益	214億円	178億円			
当期純利益	139億円	115億円			
ROE ^{※2}	4.66%	3.82%			

※1 コア業務純益
＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入－国債等債券関係損益

※2 当期純利益
純資産

※3 当期純利益
株主資本

Let's cook!

じもとの味自慢！

熊本県・鹿児島県には大自然の恩恵を受けたおいしい食材がいっぱい。両行地元の郷土料理レシピをご紹介します！

定番馬刺しをアレンジ。ひと手間くわえてユッケ風に！

お茶請けや酒の肴、子供のおやつにも！

材料

- ・馬刺し …… 70g
- ・醤油 …… 小さじ2
- ・白すりごま …… 小さじ1
- ・ごま油 …… 小さじ2
- ・砂糖 …… 小さじ1/2
- ・塩 …… 少々
- ・卵 黄身 …… 1個分

“お好みで”

- コチュジャン …… 適量
- にんにく …… 適量



熊本郷土料理 馬刺し（写真はユッケ風）

作り方

1. 馬刺しを、3～5mm程度角の細切りにする。
2. 調味料をボウルに入れて混ぜ、1を入れてさらに1～2分ほどよく混ぜる。
3. お皿に盛って卵の黄身を真ん中に落とす。

馬肉は農林水産省選定「農山漁村の郷土料理百選」で選ばれた熊本県の郷土料理です。

別名、「桜肉」とも呼ばれており、ハラミ、フタエゴ、赤身など部位によって味も見た目も大きく違います。食べ方は、定番の馬刺しをはじめ焼肉や燻製、しゃぶしゃぶなど様々です。

材料

- ・ざつまいも …… 1本
- ・にんじん …… 1/2本
- ・にら …… 4～5本
- ・衣
小麦粉 …… 100g
もち粉 …… 50g
卵 …… 1個
砂糖 …… 30g
水 …… 80cc
薄口醤油 …… 大さじ1
塩 …… 少々
- ・揚げ油 …… 適量



鹿児島郷土料理 かね

作り方

1. ざつまいもとにんじんは長さ5cm程度のための千切りにし、にらは5cmの長さに切る。
2. 衣をすべて合わせて1とあえる。
3. 2を食べやすい大きさにまとめて170度の油で揚げる。

鹿児島の郷土料理の代表格で、その姿が「カニ（鹿児島弁で“ガネ”）」に似ていることからこのような呼び名となっています。

地域や家庭によって材料や味が異なりますが、共通点は「ざつまいもを使用し、天ぷらのように揚げたもの」です。



九州フィナンシャルグループ

Kyushu FG



うるおいある未来のために。
肥後銀行

HigoBank



南の風さわやかに
鹿児島銀行

九州フィナンシャルグループのシンボルマークについて

■ コンセプト

自然豊かな九州の大地に根ざし、成長し続ける大樹。

わたしたち九州フィナンシャルグループも、しっかりと地域に根ざし、地域とともに成長しながら、社会に豊かな実りをもたらす大樹のような存在でありたいという願いが込められています。

■ デザイン

木洩れ日は、将来を優しく照らし出す光を表します。

みずみずしい豊かな九州の未来を、まさに水滴を思わせる立体的な造形によって印象深く表現しています。

■ カラー

これまで築き上げてきた信頼を表す深みのある“トラストグリーン”と、なにごとにも挑戦し続ける若々しいマインドを表す“フレッシュグリーン”を基調としています。



Kyushu FG